

# 愛知県保険医協会

## 学生会員ニュース No.59

発行：愛知県保険医協会

住所：〒466-8655名古屋市昭和区妙見町19-2

TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512

ホームページ <https://aichi-hkn.jp/> e-mail [aichi-hkn@doc-net.or.jp](mailto:aichi-hkn@doc-net.or.jp)

### 【学生会員のみなさんへ】

秋らしくなってきましたね。今年の紅葉は少し遅め、これから楽しめるようです。

今年最後の学生会員ニュースは「公立・公的病院などの再編」を取り上げてみました。  
ぜひご覧ください。



### 国が424病院の再編・統合リストを公表

厚生労働省は9月26日、「再編や統合の議論が必要」とし、全国424の公立・公的病院等を「再検証対象医療機関」として公表しました。愛知県内でも9病院が挙げられ、厚生労働省は「遅くとも20年9月」までに見直すよう求めています。病院名公表後、「この病院はどうなるのか」と患者から不安が寄せられ、リストに挙げられた各病院では、職員が患者への説明に追われたり、記者会見やホームページなどで見解を発表するなど対応に苦慮しています。

愛知の「再検証対象医療機関」

津島市民病院・あま市民病院・

一宮市立木曽川市民病院・

愛知県心身障害者コロニー中

央病院・みよし市民病院・

碧南市民病院・中日病院・

ブラザー記念病院・

国立病院機構東名古屋病院

### 地域の個別実情を踏まえず、一律に分析

全国知事会、全国市長会、全国町村会は連名で「地域の個別事情を踏まえず、全国一律の基準による分析のみで病院名を公表したことは、国民の命と健康を守る最後の砦である自治体病院が機械的に再編統合されることにつながりかねず、極めて遺憾」とコメントを出しています。「再検証対象医療機関」は、がん、心血管疾患、脳卒中、救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療、へき地医療、研修派遣機能の9領域において「実績が少ない」と分類されるか、近隣(車で20分以内)に同様の実績がある病院があるに分類された場合を対象としています。橋本厚生労働副大臣は「強制する趣旨ではない。地域で決めてほしい」と説明をしていますが、選別の根拠となったデータも、2017年6月の1カ月分の実績であり、病院の現状を正確に反映しているのか自治体関係者からも疑問がでています。

### 地域の実情を尊重した議論と住民の参加を

これまで、国は医療費抑制のため都道府県に対し、2025年を見据えた地域の病床必要量を再検討し「地域医療構想」を策定するよう求めてきました。しかし、思うように病床が減らないため、病院の再編・統合促進のため、期限を切って再検証を求めたものです。厚労省は、今後、民間病院のデータを公表することにも言及しています。

病院は地域医療のみならず、地域社会でも大きな存在意義を担っています。保険医協会は地域の実情を踏まえず、一方的に再編を求める国の姿勢を改め、「地域医療構想」の検討においては地域の実情を尊重し、住民参加を貫くよう求めています。

学生会員ニュースの  
バックナンバーはこ  
ちらから ↓

